

子どもの貧困対策 全国キャラバン in 栃木

「6人に1人の子どもが貧困」と言われても、なかなか実態が見えず実感することが難しいのではないのでしょうか。この全国47都道府県キャラバンは、各地域の方々と連携して、対策推進に向けたより充実したつながりをつくることを目的とし、今年度よりスタートした3か年プロジェクトです。

見えにくい、しかし静かに深刻さを増している子どもの貧困について理解を深め、できることを考えませんか？

日時●2016年12月17日(土) 会場●とちぎ青少年センター

第一部 10時~12時 第二部 13時~16時

JR 宇都宮駅~関東バス「作新学院駒生行き」(⑥⑦番のりば)

プログラム

東中丸バス停下車(コンセーレ前)

▼第一部(全体会) 10時~12時

主催者挨拶(村井琢哉・あすのば副代表理事)

共催者挨拶(栃木県)

自治体および支援者からの報告『私が思う、子どもの貧困』

栃木県保健福祉部こども政策課

中野謙作(栃木県若年者支援機構)

畠山由美(認定NPO法人だいじょうぶ)

仲村久代(認定NPO法人サバイバルネットライフ)

学生企画『子どもの本音をのぞき見!しゃべり場』

栃木県内 学生メンバー(高校生~大学生世代の子どもたち)

木戸寛捺(あすのば子どもサポーター、内閣府子供の貧困対策に関する有識者会議構成員、早稲田大学2年生)

荻野友香里(栃木県若年者支援機構 子ども食堂・学習支援担当) ※敬称略

▼第二部(意見交換会) 13時~16時

第一部ふりかえり/グループワーク『子どもの貧困対策ステークホルダーマップづくり』/学生・県内の支援者・自治体関係者などとの意見交換/先駆的な取り組みを行う支援団体の方々によるリレートークなど

主催: 公益財団法人 あすのば 共催: 栃木県 後援: 内閣府

助成: 公益財団法人 キリン福祉財団



応募方法●あすのばウェブサイト内の申込みフォームへ

電話・メールでの応募も可(<http://www.usnova.org>) ※裏面 FAX 参加申込書

参加費●無料 定員●午前の部 100人 午後の部 80人

お問い合わせ●公益財団法人あすのば

〒107-0052 東京都港区赤坂3-21-6 河村ビル6F

☎ 03-6277-8199 FAX 03-6277-8519 ✉ info@usnova.org

公益財団法人 USNOVA
あすのば
子どもの貧困対策センター



FAX 03-6277-8519

FAX・ウェブサイト・メールなどでお申し込みください。
E-mail info@usnova.org WEB www.usnova.org

子どもの貧困対策 全国キャラバン in 栃木 参加申込書

日時:2016年12月17日(土) 第一部 10時~12時 第二部 13時~16時

会場:とちぎ青少年センター(宇都宮市駒生1丁目1番6号)

参加希望 第一部(10~12時) 第二部(13時~16時)

ふりがな
お名前

お住まいの市町村

電話

FAX

E-mail



子どもの貧困対策法成立から満2年を迎えた昨年6月19日に、子どもの貧困対策センター「あすのば」は設立・誕生しました。

あすのばは、「明日の場」であるとともに「US(私たち)」と「NOVA(新しい・新星)」という意味もあります。子どもたちが「ひとりぼっちじゃない」と感じてほしいという「私たち」と一緒だよという願い。そして、多くの人に子どもの貧困問題が

他人事ではなく自分事感じてほしいという「私たち」でもあります。みんながどう「場」であってほしいですし、すべての子どもたちが明日に希望を持って、輝く新星のような人生を送ってほしいという願いも込めています。

あすのばの事業は、①調査・研究とそのデータなどに基づいた政策提言、②全国の支援団体の活動が持続し発展できるような支援団体への中間支援、③子どもたちの自立のために物心両面で子どもたちへの直接支援、の3本柱を担います。

また、もう一つの大きな特徴は、子どもがど真ん中・「センター」のポジションとして、孤立し声を出せない子どもの声も大切に作る運営に務めています。6人の理事のうち3人が子どもを代表した学生です。子どもの声を直接、法人の事業運営などに活かしています。

さらに、今年4月1日、内閣府より公益認定を受けて「公益財団法人あすのば」として新年度をスタートしました。今年度も子どもの貧困対策のさらなる推進に向けて歩みをすすめます。